

白鳳丸共同利用研究航海報告書

- * 航海番号 KH-24-E1次研究航海
- * 航海名称 (和文) 令和6年能登半島地震に関する海洋地球科学総合調査
(英文) Marine Earth Science Study on the 2024 Noto Earthquake
- * 観測海域 (和文) 日本海・能登半島沖
(英文) Offshore Noto Peninsula, Japan Sea
- * 航海期間 令和6年3月4日(月)～令和6年3月16日(土)
- * 出港日時・場所 3月4日 10時 富山港
- * 入港日時・場所 3月16日 11時 東京港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 令和6年能登半島地震に関する海洋地球科学総合調査
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mailアドレス ◎は@)
朴進午・東京大学大気海洋研究所・准教授・jopark@aori.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容、主調査者(e-mailアドレス)、観測項目
 1. 反射法地震探査による海底下地殻構造に関する研究、朴進午(jopark@aori.u-tokyo.ac.jp)
 2. 深海曳航システム装着の深海カメラおよび水中ドローンによる海底撮影、山口飛鳥(asuka@aori.u-tokyo.ac.jp)
 3. サブボトムプロファイラーによる海底堆積層に関する研究、大塚宏徳(hotsuka@port.kobe-u.ac.jp)
 4. マルチビーム音響測深機による精密海底地形に関する研究、大塚宏徳(hotsuka@port.kobe-u.ac.jp)
 5. ピストンコアラーおよびマルチプルコアラーによる海底堆積物に関する研究、佐川拓也(tsagawa@staff.kanazawa-u.ac.jp)
 6. CTD観測及び採水による底層水に関する研究、鹿児島渉悟(kagos@sci.u-toyama.ac.jp)
 7. 流速計・濁度計・セジメントトラップによる乱泥流に関する研究、千手智晴(senjyu@riam.kyushu-u.ac.jp)
- * 乗船研究者氏名・所属・職名
 - 朴進午・東京大学大気海洋研究所・准教授
 - 山口飛鳥・東京大学大気海洋研究所・准教授
 - 田村千織・東京大学大気海洋研究所・技術専門員
 - 亀尾桂・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員
 - 石垣秀雄・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員

孫 岳・東京大学大気海洋研究所・大学院生
呂 玉琪・東京大学大気海洋研究所・大学院生
山川 登・東京大学大気海洋研究所・大学院生
吉岡 純平・東京大学大気海洋研究所・大学院生
小野 誠太郎・東京大学大気海洋研究所・大学院生
Zeng Yuning・東京大学大気海洋研究所・大学院生
三澤 文慶・産業技術総合研究所地質調査総合センター・主任研究員
野 徹雄・海洋研究開発機構海域地震火山部門・准研究員
楠本 聡・海洋研究開発機構海域地震火山部門・研究員
大塚 宏徳・神戸大学海洋底探査センター・特命助教
松岡 篤・新潟大学理学部・教授
福地 里菜・鳴門教育大学大学院学校教育研究科・講師
佐川 拓也・金沢大学理工学域地球社会基盤学類・准教授
臼井 洋一・金沢大学理工学域地球社会基盤学類・准教授
有川 太郎・中央大学理工学部・教授
鹿児島 涉悟・富山大学学術研究部理学系・特命助教
張 勁・富山大学学術研究部理学系・教授
大塚 進平・富山大学大学院理工学教育部・大学院生
Michael Julian Haryanto・富山大学大学院持続可能社会創成学環・大学院生
土岐 知弘・琉球大学理学部・准教授
前倉 昂尚・琉球大学理学部・学部生
Zandvakili Zahra・高知大学大学院総合人間自然科学研究科・大学院生
小林 祐大・神戸大学大学院海事科学研究科・大学院生
千手 智晴・九州大学応用力学研究所・准教授
酒井 秋絵・九州大学大学院総合理工学府・大学院生
堀内 禎希・(株)日本海洋事業調査事業部・観測技術員
井和丸 光・(株)日本海洋事業調査事業部・観測技術員
佐藤 悠介・(株)マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員
鈴木 由布・(株)MOLMEC・観測技術員
屋比久 就平・(株)テレビ朝日社会部・記者

* 航跡・測点図

